

男女共同参画担当理事就任に寄せて	1
Fabulousな大学人を応援する	2
男女共同参画推進at分大(1)	
Data 大分大学の男女比率	3
コラム 他	

男女共同参画担当理事就任に寄せて



理事ご挨拶
岩切 平治
(企画・人事・男女共同参画等
担当理事)

平成25年10月1日に男女共同参画担当を受け持つことになりました岩切平治です。よろしくお願ひします。

本学では、男女共同参画推進宣言とそれを受けた行動計画に基づき、様々な取組を行っております。中でも、(独)科学技術振興機構

の助成を受けての女性研究者支援事業は、平成24年度で終了し、その事後評価のヒアリングが東京で行われ、就任早々の10月5日プレゼンを行いました。10分間のプレゼンと10分間の質疑。都合20分間の短い時間でしたが、矢継ぎ早の質問にタジタジ。質問の極めつけは、本学の目標はそれ自体が高すぎたのでは? 取組は遅すぎたのでは? と核心的な質問も出て冷や汗をたっぷり流しました。女性研究者支援事業の成果は上がりましたが目標には届きませんでした。素直に実績を受け止め、一から女性研究者の支援の在り方を考えたいと思います。

そもそも、男女共同参画社会とは一体どんな社会なのか? 私は男性も女性も社会的存在位置が明確となり、それが誰からも公平に評価される社会ではないかと考えております。さらに言えば女性も男性も輝く社会といえます。本学における現状では、自然科学系の分野での女性教員や教授等の上位職への就任状況は芳しくありません。また、大学院生に占める女性比率も目標には道半ばであります。こうした現状を改善する為に、女子大学院生や女性教員等の声に耳を傾けつつ、また、関係者のお知恵をお借りしながら、成果が出る具体的な取組を提案し、理解を得て推進して参りますのでよろしくお願ひします。

男女共同参画 学部別セミナー開催のお知らせ

大分大学では、学内の意識啓発を進めるために、平成23年度から、学部ごとに、各学部の状況に応じたセミナーの開催を企画しています。

今年度、教育福祉科学部と工学部では、学生を対象としたセミナーを企画しました。

他学部生および一般の方も聴講できます。事前の申込みは不要です。

The image shows two posters for seminars. The left poster is for the Faculty of Education seminar on December 9th, featuring speaker Mizue Ueda. The right poster is for the Faculty of Engineering seminar on December 11th, featuring speaker Mizue Ueda.

教育福祉科学部
日時：12月9日(月)
10:40～12:10
場所：第2大講義室
講師：大分県婦人防火・防災クラブ連合会会長(防災士)
瀧川智代美氏
演題：地域における婦人防火防災クラブの役割

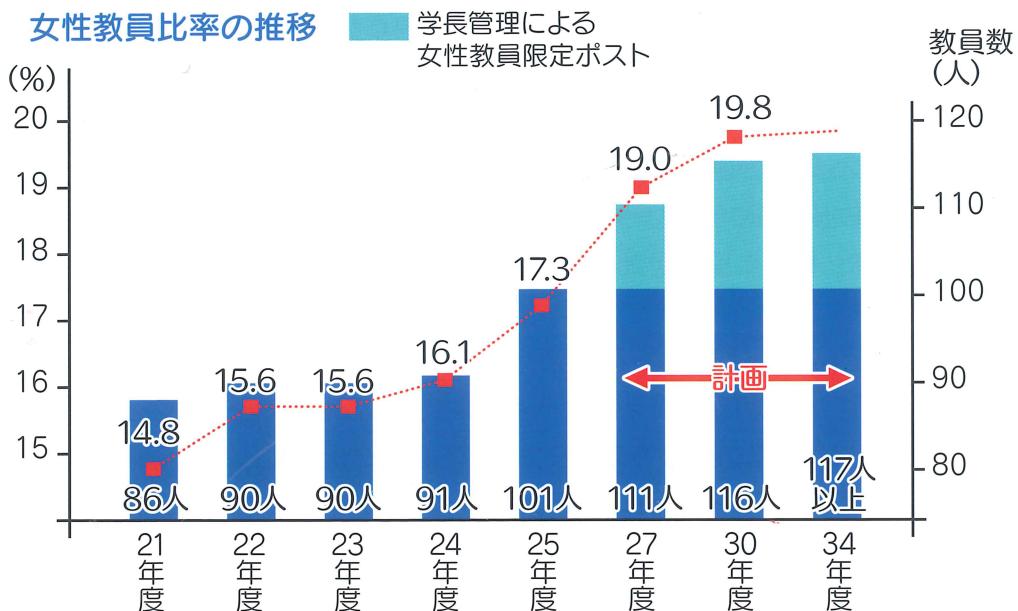
工学部
日時：12月11日(水)
14:50～16:20
場所：工学部104号教室
講師：(株)東芝 社会インフラシステム社
自動車技術統括部 参事
瀧澤由美子氏
演題：今、ここから、未来をつくる

他学部も決まり次第、お知らせします。

F a b u l o u s な 大 学 人 を 応 援 す る 男 女 共 同 参 画 推 進 a t 分 大 (1)

大分大学で推進する「男女共同参画行動計画(第2期)」の中から、今回は、男女共同参画キャリア部門が担当する「女性教員比率の積極的な改善策」について、女性教員比率20%、修士及び博士課程女性学生比率35%を達成するための取組を紹介します。

●女性研究者在籍割合20%達成計画（平成25年度～平成34年度）



●男女共同参画に向けた今後の重点化方針

平成25年10月16日に開催した本年度第5回男女共同参画推進本部会議において、次のとおり、「男女共同参画に向けた今後の重点化方針」を決定しました。

1. 工学部では女性大学院生及び女性教員比率が低いため、女性の大学院生に対する奨学金支援制度等、効果的な方策を検討する。
2. 自然科学系の医学科、工学部の女性研究者の上位職の登用については、目標を定めて努力する。また、女性研究者と女性大学院生の支援については、基本的に異なるのではないかとの意見を踏まえ、実情調査のうえ効果的な方法を検討する。
3. 進捗状況については、2年ごとに検証を行い、必要な見直しを行うとともに、当初の目標の早期実現を目指す。

●次世代育成支援

8月8日、オープンキャンパスで「女性研究者と語ろう」を開催しました。

旦野原・挾間の両キャンパスに当室のブースを設け、パネル展示やDVD上映による取組紹介のほか、恒例となった「女性研究者と語ろう」を開催しました。

本学の女性教員が、訪れた女子高校生らと親しく向かい合って、進路についてのアドバイスや研究の楽しさ、研究者への道のりなどについて、分りやすく説明しました。高校生からは「相談できてよかったです」「研究に対する姿勢や考えを聴けて、かっこいいな素敵だな♡と思った」「大変だけど面白いのかなと感じた」等たくさんの声が寄せられました。



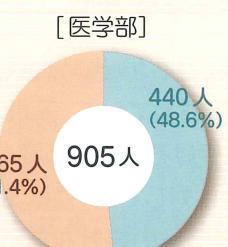
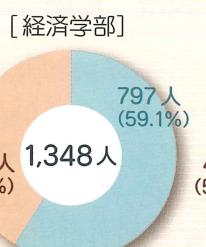
Data 大分大学の男女比率

学部・研究科・職階により、比率は大きく異なる。

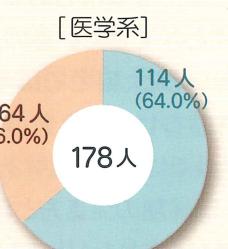
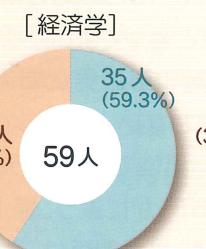
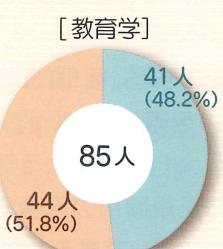
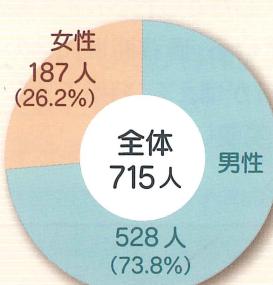
上位職階の女性比率は、まだ少ない。

(平成25年5月1日 現在)

学部学生

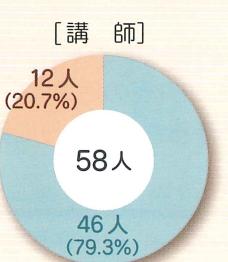
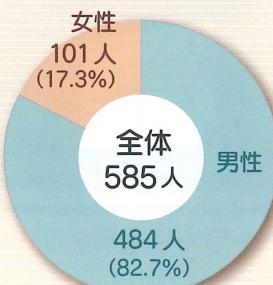


大学院生



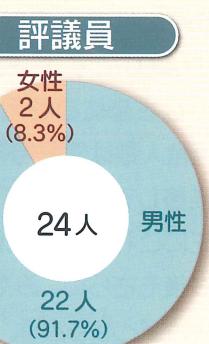
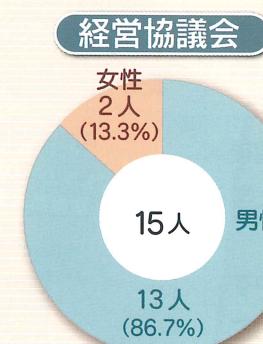
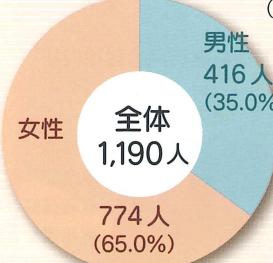
女性比率目標 35%

教員



女性比率目標 20%

その他の職員



仕事と家庭の両立支援

(過去3年間の利用実績)

	男性	女性
育児休業	2人	115人
介護休業	1人	2人

Column

このコラムでは、大分大学の教職員の方に、
男女共同参画ということに寄せて思いやお考えをご自由に述べていただきます。

今回ご登場いただいた方は

学術情報拠点医学情報センター教授 島岡 章さん

10年ほど前のことになるが、当時の看護部長さんが、「私も奥さんが欲しい」とつぶやいていたことがある。この方は、結婚されていて、子供さんもいるのだが、女性が職場で実力をフルに発揮するには、家事から解放され、サポートを受けることが必要なだろう。総理府の調査によると、家事関連時間（家事、育児、買い物、介護）は、男性が42分に対して、女性は3時間35分と大きな差がある。男性の育児休業取得率は、1.89%、女性は83.6% という厚生労働省の統計もある。また、女性は出産・育児にたずさわるために、一定期間、仕事を離れるを得ないという生物学的な事情もある。ほとんどの男性は、家庭でパートナーからのサポートを受けて、職場で仕事の業績をあげることができているのだと言つてよいだろう。

かく言う私自身は、自宅では年齢相応の男女関係を保っている。簡単には変えられない。ただし、妻に対して、メシとか、掃除片づけしろとかは言わないようになっている。「倍返し」になって、まくしたてられることが目に見えている。自宅以外では、さも理解ある男性であるように発言し、行動するよう努めている。過渡期世代なのだろう。私の両親の夫唱婦隨の生き方とは明らかに違う。最近は、非正規雇用の若者（男性）が増えて、結婚できなかつたり共働きを余儀なくされたりしている。男女関係は、数十年のスパンで見ると大きく変貌している。

第5回九州・沖縄女性研究者支援シンポジウムin福岡

「社会へひろがる 地域とつながる 女性活躍推進に向けて 大学からの発信」が九州大学で開催されました。

9月7日(土)に開催された同シンポジウムでは、九州・沖縄9大学の理事・副学長によるパネルディスカッションが行われました。大分大学からは、「より広く、より大きく」をモットーとした男女共同参画推進の取組を報告したところ、会場から、「疾患制限なしの病児保育室」についての評価の声と、設置までの具体的な取組に対する質問が寄せられ、同様の施設に対する需要と期待の大きさを改めて目のあたりにしました。各大学は、これからも女性研究者の活躍促進、男女共同参画推進の取組を通して、誰もがのびやかに能力を発揮できる社会づくりに貢献することを確認し、シンポジウムを終えました。



『ひだまり通信』

6月に開室した大分大学病児保育室「ひだまり」ですが、9月末現在でのべ 121名のみなさまにご利用いただきました。利用者人数は開室月を除き、毎月35名前後で推移しており、多様な職種および大学院生にご利用いただいております。

今後もさらに、みなさまがご利用しやすい保育室となるよう、スタッフ一同成長していきたいと思っております。温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご利用されるみなさまへ

- 病児保育室は、離乳食・アレルギー以外のお子さまに関しては食事・おやつの準備ができるますが、飲物は水のみの準備しかしておりません。発熱時等は、こまめな水分摂取が必要ですので、お好みの飲料等をご準備いただけると助かります。よろしくお願ひいたします。

図1:病児保育室利用人数



図2:病児保育室利用者職種内訳

